

とうせき しター 2月

透析患者さんの皮膚が乾燥するのは？

透析患者さんは皮膚の一番表面の水分量が低下しています。長期にわたる透析期間に応じて皮脂腺や汗腺が委縮して汗の分泌が低下することで皮膚表面の水分が減少し乾燥していきます。そのため、乾燥から起こる痒みの頻度は90%と高く、特に湿度の低い冬季に悪化する傾向があります。今月は乾燥や痒みと同じ症状を起こし悪化しやすい足白癬（水虫）についてのお話です。



このような症状があったら要注意

① 趾間型

② 小水疱型

③ 角質増強型



足の裏を観察してガサガサであったり、白いすじ状の皮膚のしわが目立っていたりすれば、足白癬の可能性が高いといえます。



よく見る爪白癬(つめはくせん)

爪白癬もよく見られます。

手や足の爪に症状がでる爪白癬の特徴は爪が厚くなり白く濁ります。症状が進行すると爪が黄褐色へ変色しボロボロ欠けてきます。皮膚に食い込み痛みを伴うことがあります。内服薬や外用薬では治りにくく治癒までに1年以上かかる可能性があります。難治性ですので、早期に皮膚科に受診し、毎日観察をしましょう。



皮膚の観察ポイント

傷、水疱、ひび割れ、かさつき、痛み、色の変化など



月に一度、血流測定や足の動脈触知を行っています。その際にスタッフも足を観察しますので、気になることがありましたらスタッフにご相談ください。

